科目名	ダンスⅧ							年度	2025
英語科目名	Dance Ⅷ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科　２年次	必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	池田ちほ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		

【科目の目的】

ウォームアップとしてストレッチと筋力トレーニングから開始する。ストレッチでは呼吸法と背骨の動きに特化したエクササイズ(ジャズダンス)を取り入れる。その後基本的なレッスンの流れに沿って取り組む。

【科目の概要】

ジャズダンス、タップダンスを通じて、身体表現方法を学びながら柔軟性、体幹を鍛え、美しい姿勢を目指し、より高度な技術を身につける。

【到達目標】

基礎レベル以上の技術を身につけ、ダンスの知識やテクニックを卒業公演のダンスシーンやオーディション活動に活かしたい。また、毎回の授業で取り組むストレッチと筋力トレーニングにより柔軟性が向上し、身体に対する関心や意識が高まることが望ましい。それにより、身体を動かすこと・体力の強化の必要性や重要性を認識し、生涯的に継続してトレーニングする意欲に繋がることを目標とする。

【授業の注意点】

多人数のグループの中で個々の差に対応するため、コミュニケーションを重視する。疑問点は教員が直接指導できる授業内での解決を目指し、積極的に質問するよう心がける。バレエのレッスンでは怪我の可能性も含むため、周りの生徒との接触には十分配慮し、スムーズな授業進行に協力すること。怪我をしている場合は予め申し出をし、担当教員の判断で授業見学を認めるが、体調不良による見学は認めない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている		レベル４ よい		レベル３ ふつう
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる		挨拶することができる		挨拶することが全くできない
到達目標 B	課題内容を理解し踊ることできる		課題を踊ることができる		課題を踊ることができない
到達目標 C	遅刻・欠席をしない		遅刻・欠席が少ない		遅刻・欠席が多い

【教科書】

レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	ダンスⅧ	年度	2025
英語表記	Dance Ⅷ	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	タップダンスとバレエの違いと共通点１	音楽性やリズム感	1	リズム感や身体の柔軟性を鍛える	舞台でのパフォーマンスだけでなく、教育やリハビリテーションなど、多様な用途を理解する	2	
2	タップダンスとバレエの違いと共通点２		1				
3	タップダンスとバレエの違いと共通点３		1				
4	ジャズダンスやストリートダンスとの関連性１	リズム感やダイナミックな動き	1	個性的なスタイルや表現力	タップダンスで鍛えたスキルを活かせる		
5	ジャズダンスやストリートダンスとの関連性２		1				
6	タップダンスのインスピレーション１	リズムと音楽性	1	インスピレーション	多様な楽曲の存在を知る		
7	タップダンスのインスピレーション２		1				
8	タップダンスを踊る著名人１	パフォーマンスとリズム感	1	世界のタップダンサー	音楽・舞台・映像作品のタップダンスの歴史を知る		
9	タップダンスを踊る著名人２		1	日本のタップダンサー			
10	後期試験	まとめ	1	1年間の復習	自分独自のスタイルを追求する		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等